

會 報

令和2年12月12日 発行

第 74 号

関東地区整形外科勤務医会

発行者：会 長 江畑 功

発行所：事務局 新井 嘉容

〒332-8588 埼玉県川口市西川口 5-11-5

済生会川口総合病院 整形外科

関東地区整形外科勤務医会

電 話 048-253-1551

FAX 048-256-8703

コロナの功罪

横須賀共済病院

江畑 功

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関しては、世界全体で患者数・死者数とも増加し続けており（この原稿を書いている10月時点でも死者100万人以上）、日本においてもまだ終息の気配は見えてきません。各種会合の自粛などが叫ばれてからすでに8カ月以上経過しました。経済への影響も計り知れず、感染拡大防止と経済再生の両立を目指して、「ウィズコロナ」なる造語も提唱されています。

密閉・密集・密接の「3密」を避けようとの目的からいろいろな会議が激減し、「オンライン会議」が盛んになってきました。（次頁に続く）

目次

1. コロナの功罪…………… 江 畑 功………… 1
2. 関東整形外科勤務医会事務局総務の退任にあたって…………… 中 川 照 彦………… 2
3. 令和2年度日整会社保委員会ならびに外保連の動向…………… 平 泉 裕………… 4
4. 令和2年度関東地区整形外科勤務医会幹事・常任幹事会議事録(令和2年6月13日) …… 6
5. 令和2年度関東地区整形外科勤務医会総会議事録 …………… 10
6. 令和元年度事業報告…………… 10
7. 令和2年度事業計画（案）…………… 11
8. 令和元年度収支決算書…………… 11
9. 令和2年度予算書（案）…………… 12
10. 令和2年度関東地区整形外科勤務医会常任幹事会議事録…………… 12
11. 事務局から…………… 16
12. お知らせ…………… 17
13. 入会申し込み書…………… 18

民間企業では在宅で勤務することが可能な社員も多くなり、出張や転勤そのものが必要なくなり、生活・居住環境の改善を目的に大都市圏を離れる人も増えてきていると聞き及びます。交通機関や宿泊施設などはそのあおりで大幅な減収となってしまいましたが、逆に今まではなぜできなかったのだろうかと考えてしまいます。日整会の理事会や各種委員会もオンライン形式が一般的となってきており、遠方の先生方にとっては大幅な時間と労力の軽減になっていると思われます。

5月の学術総会も初めてオンライン形式で開催されましたが、参加者は15000人以上と例年の1.5倍、教育研修講演申し込みは24万件以上と例年の6倍以上にも達しました。WEBの便利さを浮き彫りにしたものとは思われますが、研修講演聴講に際して短時間で一度に多数の単位取得を試みた会員もあり、セキュリティの問題は今後も検討が必要と思われます。もちろん会場で直接議論を交わすというのが学会本来の姿であろうと思いますし、「やはり博多には行きたかった」という多くの会員の声があるのもまた事実ではあります。

我々本来の業務である医療に関しても、「オンライン診療」を勧めるような動きが出てきています。緊急事態宣言下では、安定している通院患者には電話で確認したうえで定期的な処方などを行ってきました。一部には取り入れていくべきものは確かにあるとは思いますが、「診察」はどこまで可能でしょうか。単純な問診や画像診断などAIの発達で肩代わりできるものもあるとは思いますが、「理学所見」はどうでしょうか。特に初診の患者さんの理学所見は、直接触れながらでなければ得られないものがまだまだあると思っている私などは、「アナログ」と思われても仕方がない部類なのでしょうか。

オンラインや対面式のそれぞれの利点を考えるきっかけになってしまった今回の新型コロナ感染症ですが、少しでも早く終息に向かうことを願ってやみません。

関東地区整形外科勤務医会事務局総務の退任にあたって

同愛記念病院 副院長

中川 照彦

このたび本会の事務局総務を退任しました。事務局の苦労話などを入れた退任挨拶文を書くように江畑会長から依頼されましたので、自戒の念を込めて述べさせていただきます。

2012年の春頃、本会の事務局を行って欲しいと、肩関節の恩師である三笠元彦先生からお電話がありました。2012年10月の第39回日本肩関節学会の会長業務で超多忙であったことから学会が終了した2013年からならお引き受けできると軽い気持ちでお返事しました。しかし、これが悪魔の電話であったことを後で痛感するようになりました。

2012年に原田 繁先生が事務局から会長に就任しました。原田先生は事務局業務があまりにも忙しいことから事務局を事務局総務と事務局広報の2つに分けました。広報はHPと会報を担当し、総務はそれ以外の担当となりました。広報は江畑先生で総務は中川に決まりました。原田会長からは引き継ぎとして膨大な量のデータをメモリースティックで頂きました。事務局業務のノウハウがとても丁寧に記述されていたのですが、真剣に読んで頭に叩き込むところまでには至りませんでした。

2013年度(2013年6月)の幹事・常任幹事会にて事業報告、事業案、会計報告、予算案の作成を失念しており、参加者全員呆然で、最初からやらかしちゃったなあと、穴にでも入りたい気持ちでした。その後の総会でも事業報告や会計報告が存在しないのももちろん承認されず大変な思いをしました。出だしから大きく躓きましたが、覆水盆に返らずで、まあしょうがない、次回から頑張ろうと思った次第です。

事務局の住所変更、名義変更にはめっちゃくちゃ苦労しました。原田先生からは郵便通帳と原田先生の郵便局の印鑑を渡されていました。郵便通帳と原田先生の印鑑、私の印鑑、免許証があれば大丈夫だと思って、同愛記念病院の近くの郵便局にこのこ出かけました。そこで言われたことにはびっくり仰天で、本会の会則、役員名簿、議事録などの提出を求められました。本会の会費は郵便振り込みになっていますが、その変更にも手間取りました。結局郵便局に3回足を運びなんとか名義変更を完了でき、ほっとした次第でした。

その後事務局業務にも慣れてきて、議題や議事録をコピー＆ペーストを利用して比較的容易に作成できるようになりました。常任幹事や幹事の推薦もメールで依頼され議題の審議事項に載せますが、常任幹事・幹事の推薦があっても、実は推薦された先生が本会の会員になっていないことがしばしばありました。名簿で確認して会員でないことが判明したら、推薦した先生にメールして推薦された先生のメールアドレスを教えてもらい、会員になって頂きたい旨をメールし、入会申込書を添付しました。

入会、退会のメールやFAX、電話も多く、結構大変でした。病院の電話交換手から「関東」という言葉を聞いただけで、どんな時、どんな場合であっても必ず電話にでました。電話での退会の対応は、時間に余裕があり所属・お名前を書き留められるときならよいのですが、そのような余裕がないときは記憶するしかなく、あとで名簿を調べながら、この先生で間違えないと確認して、胸をなでおろすこともありました。数名の先生からは退会を通知したのに会報などが郵送されてくるとお電話でお叱りをうけたこともあります。

2014年にそれまで共催メーカーだった大日本住友製薬が本会の共催を終了し、帝国製薬に引き継ぎたいとのお話がありました。そして2014年12月13日の幹事・常任幹事会で「共催企業を大日本住友製薬から帝国製薬へ変更」が承認されました。これまで常任幹事会・幹事常任幹事会・総会・教育研修会のいずれも大日本住友製薬の会議室を無料で使用させていただいておりましたが、それ以降は「AP東京八重洲通り」の会議室を使用するようになり、支出が大幅に増えました。しかし帝国製薬の本会に対する人的・物的なサポート体制には目を見張るものがあり、多岐にわたる事務局業務を微にいり細に入り補助していただき、大変ありがたく思っています。

教育研修会の演者を決めることも事務局の大事な仕事の1つでしたが、2016年に教育研修委員会が立ち上がり、初代委員長に村松俊樹先生が就任され、演者の選定や、日整会単位の申請業務を行ってくれるようになり事務局業務が軽減しました。村松俊樹先生には本当に苦労の連続で、申し訳ないと心を痛めながらも大変感謝しております。

一番神経を使ったのは日整会の代議員選挙です。現在13名が本会からの候補者になっていますが、立候補者は期限までに推薦書5通と所信表明を日整会事務局に提出しなければなりません。1日でも遅れると、受け付けてくれないので、事務局としては1名でも立候補者の手続きが遅れ、代議員になれない事態が生じたら切腹ものです。全員の立候補届がでるまではハラハラドキドキでした。

事務局の仕事は大変ですが、やりがいもあります。関東の錚々たる先生方とメールのやりとりをしたりして知己を得ることができます。事務局担当者は日整会の代議員になれるので、日整会の代議員会に出席し意見を述べることもできます。日整会の3学会の会長選挙の投票権を持てます。また日整会総会の会長晩餐会に招かれることから、美味しいお料理に舌鼓を打ちながら全国の有名な整形外科の先生方にご挨拶ができます。私は宴会、飲み会が大好きなので各会長が趣向をこらした演出のなかでとても楽しい思いをさせていただきました。

7年間も事務局を務め、この名誉ある仕事は次世代に引き継いだ方がよいと考えるようになりました。数名の先生に事務局の就任を打診したのですが、いずれもあっさり断られてしまいました。困り果てて、東京医科歯科大学の後輩で脊椎外科の実力者である新井嘉容先生に白羽の矢を立てました。彼は性格温

厚で誠実な人柄であり、なにより明るく何事にもポジティブで、うってつけと考え、猛アタックをしました。紆余曲折はありましたが、最後は拝み倒し戦術が実り、事務局総務の就任を承諾してくれました。本当に感謝の極みでした。

事務局の移転に伴い、郵便局の通帳と会費の郵便振り込みの名義の2つを中川から新井先生に変更しなければなりません。先述したように、前回の名義変更ではとても苦労したので、新井先生にメールして事前に書類一式を用意し、さらに新井先生が川口市の郵便局に電話し、どのような手続きが必要かを聞いてくれました。そして日程を調整して、新井先生と秘書さんと私の3人で川口市の郵便局に出向きました。書類も揃え、名義人変更の2人も来ているので、すぐにも名義変更が可能と確信していたところ、ビックリポンの展開になりました。会則に記載された事務局の所在地が同愛記念病院になっており、この会則では名義変更は絶対に認められないと郵便局員から言われてしまいました。しかし、ここで引き下がるわけにはいきません。決して相手を威圧せず、「会則の変更はこの郵便通帳の名義変更が行われない限り絶対にできません」「コロナウイルスが吹き荒れる中、危険を覚悟で東京から川口まで県をまたいで来たんです。このまま帰れと言うんですか」と泣き落とし戦術で抗戦しました。郵便局員は本局に何度も電話で問い合わせしてくれて、1時間ほどで、笑顔で「名義変更が可能です」と言われ、ほっと胸をなでおろしました。その後、別の場所に通していただき色々な書類に記載し、捺印し、すべて終了したのは夕方郵便局に着いてから2時間以上の時を経ていました。

2020年10月26日に常任幹事会がAP東京八重洲通りの会議室で対面形成にて久しぶりに行われました。日整会の代議員選挙の候補者の推薦書を記載する、もっとも重要な会議が新井先生のデビュー戦となりました。新井先生の議事進行ぶりは見事と言うほかなく、また推薦書の用意も完璧でとても嬉しく誇らしい気分でした。会が終わった後、新井先生と飲みに行って、乾杯したビールは本当に美味しかったです。

長くなってしまいましたが、今後ますます本会が発展していくことを願ってやみません。

令和2年度日整会社保委員会ならびに外保連の動向

医療法人社団輝生会教育研修センター部長

平泉 裕

I. 日本整形外科学会 令和2年度第1回社会保険等委員会の討議事項

(令和2年8月1日開催)

- 1) 令和2年度全国整形外科保険審査委員会議 (Web開催) の準備
- 2) 小児運動器疾患指導管理料に係る算定要件及び施設基準の見直しに関する通知内容
(日整会会員専用HPに4月7日付で掲載)
- 3) 脊椎内視鏡下手術施行にあたっての指針案 (脊椎委員会) に対する見解
- 4) 脊髄誘発電位測定等加算時の出来高算定 (医療課通達) の不合理問題
- 5) アルツァンブル製造中止について (生化学工業)

II. 令和2年診療報酬改定の結果報告

1. 日本整形外科学会からの新設要望

- 1) 悪性骨・軟部腫瘍手術 (処理骨移植を伴うもの): 採用→処理骨再建加算 15,000点
- 2) 椎間板ヘルニア融解術 (コンドリアーゼ使用による): 採用
→椎間板内酵素注入療法 5,350点
- 3) 人工股関節再置換術・股関節 (摺動面のみ): 採用→人工股関節摺動面交換術 25,000点

4) 放射線被ばく下操作が必要な手術に対しての加算：不採用

2. 日本整形外科学会からの改正要望

1) 術中ナビゲーション加算の適応追加：側弯症手術：採用

悪性骨腫瘍手術：不採用

2) 内視鏡下椎弓形成術：複数椎間加算：不採用

3) 通則 14 の追加：内視鏡下椎間板切除術＋内視鏡下椎弓切除術：採用

4) 後縦靭帯骨化症(前方進入)：複数椎間加算：不採用

5) 黄色靭帯骨化症手術：複数椎間加算：不採用

6) 褥瘡ハイリスク患者ケア加算：ギプス固定と鋼線牽引治療の追加：不採用

7) 術中 CT 加算：不採用

3. 整形外科関連学会からの新設要望

1) 人工距骨全置換術：採用→人工距骨全置換術 27,210 点

2) 頸椎人工椎間板置換術：採用→人工椎間板置換術（頸椎）36,780 点

4. 整形外科関連学会からの改正要望

1) 小児運動器疾患指導管理料（適応年齢の引き上げ）：採用

2) 手術通則 14 追加：神経再生誘導術：採用

3) 前腕から手根部における腱縫合術の複数加算：採用

4) 患者適合型変形矯正ガイド加算

・骨切り術（カスタムガイドを用いる）：採用

・変形治癒骨折矯正手術（カスタムガイドを用いる）：採用

5) 高位脛骨骨切り術に伴う膝関節鏡下手術加算：採用

6) 関節鏡下膝十字靭帯形成手術 複数靭帯加算：採用

III. 令和4年度診療報酬改定に向けた外保連活動

令和2年

5月18日 不合理・矛盾点の意見募集 締切

6月 緊急要望 提出

11月6日 日整会関連学会合同会議（要望書記載学会の調整）

11月24日 外保連記者懇談会

11月30日 新設・改正・材料 要望項目アンケート 締切

12月 外保連による手術実態調査

令和3年

3月上旬 要望書記載学会への要望書作成依頼

3月下旬 新設・改正・材料 要望書 締切

5月下旬 厚生労働省へ要望書を持参し陳情

7月～8月 厚生労働省によるヒアリング実施

IV. 外保連コード（STEM7）への移行

令和4年度改定から外保連コード（STEM7）へ完全移行予定

V. 日整会独自の症例登録制度（JOANR）がスタート

・既に30万件以上の手術が登録

・外科学会 NCD（National Clinical Database）に対応できるシステム構築

・診療報酬改定時の技術要望（新設、改正）において、全国規模調査が求められるため極めて重要。

令和2年度関東地区整形外科

勤務医会幹事・常任幹事会

議事録

日時：令和2年6月13日(土曜日)

メール審議

参加常任幹事

浅野 聡、新井 嘉容、石橋 英明、泉田 良一、
伊室 貴、岩瀬 嘉志、上田 誠司、浦部 忠久、
江畑 功、大江 隆史、大野 隆一、落合 直之、
桂川 陽三、鎌田 修博、亀ヶ谷 真琴、亀山 真、
川井 章、河内 敏行、河村 直洋、楠瀬 浩一、
河野 亨、五嶋 孝博、小森 博達、佐々木 孝、
坂根 正孝、篠崎 哲也、清水 健太郎、
進藤 重雄、杉山 肇、田尻 康人、寺内 正紀、
富田 善雅、中川 照彦、新関 祐美、西須 孝、
西本 和正、原田 繁、原田 義忠、平泉 裕、
平野 篤、別府 保男、星川 吉光、穂積 高弘、
堀内 行雄、眞塩 清、松本 誠一、三上 容司、
三原 久範、村松 俊樹、森岡 秀夫、
山縣 正庸、山崎 隆志、山本 精三、
早稲田 明生

(54名、敬称略、五十音順)

【報告事項】

1 理事会報告

江畑先生より報告

- ・JOANR 4月以後登録順調、現在年間50万件のペース、人工関節部品のロット番号入力、バーコードリーダー開発予定
- ・2020年度整形外科専攻医登録状況 660名程度と大幅に増加(一昨年554、昨年517、基本領域で最多)、今後さらにシーリングがかかる可能性あるため、II型基幹施設を増やす必要あり
- ・ロコモ度3を正式に決定
- ・5月開催予定の学術集会 通常開催を断念 6～8月のWeb開催方式とすることに決定 社員総会もWeb中心で開催予定に
- ・7月の骨軟部腫瘍学会 Web開催に変更

- ・医道審議会保健師助産師看護師分科会看護師特定行為・研修部会
外科系基本領域パッケージ研修は日整会の案が認定された
- ・日整会誌の電子化に関するアンケート結果 電子版に移行することに賛成が85%以上
- ・新型コロナに対する日整会の取り組み
HPでバナー解説
関東地区のアンケート結果も掲載
- ・今年度の研修会
リウマチ、脊椎脊髄病医、スポーツ、運動器リハはいずれもWeb開催に
内視鏡実技(11月神戸)は中止
- ・2020年度専門医試験
従来の形式(1月神戸)は中止
全国各地での一斉試験(CBT:Computer based testingのみ、面接・ビデオ問題なし)を予定

2 社員総会報告

江畑先生より報告

- ・理事長報告 当日は要約のみ 詳細は日整会HPの会員ページでビデオ閲覧可能
 1. 日整会運営の現状
 2. 新専門医制度の現状と課題
 3. 症例レジストリー(JOANR)の開始
 4. ロコモ関連活動
 5. 医師の働き方改革と男女共同参画
 6. 国際活動
 7. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への日整会の対応
- ・各種委員会報告 当日は特に説明なし
- ・令和元年度事業報告と収支決算報告→承認
- ・令和2年度事業計画と収支予算報告→承認
- ・日整会定款および関連規則の一部改訂
理事の人数:16名以上20名以内
→16名以上25名以内に
理事長に事故ある時の対応を明記
理事長の再任を1回のみ認める(連続4年まで可能に) ことに変更(次期以降)→承認
- ・山縣先生が名誉会員に決定
- ・令和5年度に開催される学術集会会長選挙結果

第 38 回基礎学術集会

山崎正志先生（筑波大学）

第 56 回骨軟部腫瘍学術集会

西田 淳先生（東京医大）

第 96 回学術総会

尾崎敏文先生（岡山大学）

→いずれも単独立候補で決定

3 ホームページ・会報

伊室先生より報告

会報第 73 号を発送した。

4 ロコモ チャレンジ！推進協議会の活動報告会

大江先生より報告

- 1) 医学会連合の領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けた WG で議論が進行している。75 歳以上の高齢者向けの健診で全国に配布されるパンフレットを作成した（別掲 フレイル・ロコモパンフレット 202003）。
- 2) 協議会からロコモ度 3 について日整会に提案し、理事会で承認、理事長から報告された。日整会の HP の理事長報告を動画で見る事が可能。その根拠となるデータは 9 月の記者説明会で発表予定。勤務医に最も関連するのは、手術によりロコモ度 3 をロコモ度 2 に改善することが多いこと。
- 3) ロコモ度テストの性・年代別基準値が載ったロコモパンフレット 2020 年を作成中で、9 月までには完成の予定。
- 4) 今年度の学術集会が開かれるはずであった博多駅のコンコースのサイネージで放映するロコモ啓発動画を学術集会と協働で作成し、5 月 18 日から 24 日まで放映された。その模様は学術集会の HP で示される予定。（パンフレットを添付）

5 外保連関係の報告

- 1) 亀山先生（日本整形外科勤務医会 外保連実務委員）より報告
 - ・令和 2 年度診療報酬改定関連
日本整形外科勤務医会の要望として、複数手術に係る費用の特例の対象手術に神経再生誘導術を追加すること（改正要望書担当学会は日本手外科学会）が認められ、その詳

細は以下の通りとなった。

「神経再生誘導術（手指、中手部、または手関節に限る）は以下の手術と併使した際に、点数の高い方を 100%，点数の低い方を 50%として 2 つの術式を合算できる。」

K034 腱切離・切除術（関節鏡下によるものを含む。）（手指、中手部又は手関節に限る。）

K035 腱剥離術（関節鏡下によるものを含む。）（手指、中手部又は手関節に限る。）

K035-2 腱滑膜切除術

K037 腱縫合術（手指、中手部又は手関節に限る。）

K038 腱延長術（手指、中手部又は手関節に限る。）

K039 腱移植術（人工腱形成術を含む。）（手指、中手部又は手関節に限る。）

K040 腱移行術（手指、中手部又は手関節に限る。）

K046 骨折観血的手術（手指、中手部又は手関節に限る。）

K107 指移植手術（手指に限る。）→この場合の合算できる神経再生誘導術は手指に限る。

K610 動脈形成術、吻合術（手指、中手部又は手関節に限る。）

K623 静脈形成術、吻合術（手指、中手部又は手関節に限る。）

- ・なお、外保連より令和 4 年度診療報酬改定に向けた要望項目アンケートの案内があり、アンケート提出期限は本年 11 月 30 日とされた。

2) 平泉先生（日整会社会保険委員会委員長・外保連理事）より報告

1. 令和 2 年度診療報酬改定結果

a) 新規要望が採用された技術

- ・悪性骨・軟部腫瘍手術（処理骨移植を伴うもの）
- ・椎間板内酵素注入療法（化学的髄核融解術）
- ・人工関節再置換術・股関節（摺動面のみ）

b) 改正要望が採用された技術

- ・術中ナビゲーション加算の適応追加（側弯症手術と悪性骨腫瘍手術）

- c) J129-4 治療用装具採型法が整理された。
- ・ 体幹装具 700 点
 - ・ 四肢装具（1 肢につき） 700 点
 - ・ その他（1 肢につき） 200 点
- d) 小児運動器疾患指導管理料
→ 適応年齢の引き上げ
- e) 脊髄誘発電位測定等加算（DPC 包括請求から出来高算定化）の告示→撤廃
2. 令和 2 年度全国整形外科保険審査委員会議
→Web 開催
- ・ 新規保険収載「悪性骨・軟部腫瘍手術（処理骨移植を伴うもの）」→算定要件「処理骨の作成に係る指針・手術手順」を日整会ホームページに掲載
 - ・ 外保連主催：第 21 回記者懇談会テーマ「新型コロナウイルス蔓延下で実施した手術制限や陽性患者の紛れ込み対策で外科系医療がどのような影響を受けたか」

6 内保連関係の報告

石橋先生より報告

例年、6 月と 11 月に加盟学会からの委員が出席する内保連社員総会が、令和 2 年度はコロナウイルスの影響で 10 月に 1 回だけの開催となった。したがって今回は特に報告事項はなし。

7 2020 年 10 月の常任幹事会の日時、場所

日時：2020 年 10 月 26 日 月曜日

19:00～20:00

場所：A P 東京八重洲通り

日整会代議員選挙に関して

推薦状署名・捺印など。

8 第 71 回教育研修会の日時、場所

日時：2020 年 12 月 12 日 土曜日

16:00～18:00

場所：A P 東京八重洲通り

幹事・常任幹事会 14:30～15:30

商品説明 15:40～16:00

9 令和元年度事業報告

令和元年 6 月 1 日～令和 2 年 5 月 31 日

会報発行 2 回

第 72 号：令和元年 11 月 27 日発行、

第 73 号：令和 2 年 6 月 13 日発行

総会 1 回：令和元年 6 月 15 日

幹事・常任会幹事会 2 回：令和元年 6 月

15 日、同年 12 月 14 日

常任幹事会 4 回：令和元年 6 月 15 日、
同年 10 月 28 日、同年 12 月 14 日、令和 2
年 3 月 16 日（メール審議）

教育研修会 2 回：令和元年 6 月 15 日、同年
12 月 14 日

第 68 回教育研修会 令和元年 6 月 15 日

【演題 1】座長：田中 利和先生

演者：金岡 恒治先生 早稲田大学スポーツ
科学学術院教授

演題名：腰痛のプライマリケア

【演題 2】座長：鎌田 修博先生

演者：小西 宏昭 先生 労働者健康安全機
構長崎労災病院副院長

演題名：医療機器単回、複数使用の是非と
安全性～感染症リスクは減少するか？～

第 69 回教育研修会 令和元年 12 月 14 日

【演題 1】座長：石橋 英明先生

演者：河野 博隆先生 帝京大学医学部整形
外科学教室主任教授

演題内容：「動ける」ことを意識した骨転移
診療

【演題 2】座長：岡崎 裕司先生

演者：門野 夕峰先生 埼玉医科大学整形外
科・脊椎外科教授

演題内容：整形外科医でも分かるリウマチ
治療のアップデート

全国整形外科保険審査委員会議

令和元 9 月 8 日

東日本整形災害外科学会シンポジウム

令和元年 9 月 6 日

外保連総会、実務委員会、手術委員会、検査
委員会、処置委員会

内保連

日整会社会保険委員会

10 その他

・ 会報広告の募集経緯

江畑先生より報告

卸し業者を通じて各医療機器メーカーに依
頼（趣意書を配布して）した結果、今回は
10 社からの申込があった。今回は合計 39
万円になる予定。会報出来上がり後はさら

に広く配布して依頼をしていく予定（39 万円のうち令和元年度の収入に 30 万円を計上）。

- ・年 2 回（3 月と 10 月）の常任幹事会はメール審議となりました。ただし日整会の代議員選挙の前年の 10 月の常任幹事会は対面式とします。
- ・「医療用医薬品製造販売業公正競争規約」に則した教育研修会運営のためには 2 演題のうち 1 演題の演題名に「痛み」「疼痛」「ペイン」などの単語が入ることが絶対に必要です。

【審議事項】

1 令和 2 年度事業計画

令和 2 年 6 月 1 日～令和 3 年 5 月 31 日

会報発行 2 回：令和 2 年 11 月、令和 3 年 5 月を予定

総会 1 回：令和 2 年 6 月（資料郵送）

幹事・常任会幹事会：令和 2 年 6 月（資料郵送）、令和 2 年 12 月 12 日

常任幹事会 4 回：令和 2 年 6 月 13 日（メール審議）、同年 10 月 26 日、同年 12 月 12 日、令和 3 年 3 月（メール審議）

教育研修会 1 回：令和 2 年 12 月 12 日

第 70 回教育研修会は令和 2 年 6 月 15 日開催を予定したが中止

全国整形外科保険審査委員会委員会議
令和 2 年 9 月 13 日

日本整形外科勤務医会総会
令和 3 年 5 月 19 日

日整会総会シンポジウム（日本整形外科勤務医会提案）

外保連総会、実務委員会、手術委員会、検査委員会、処置委員会

内保連

日整会社会保険委員会

：賛成多数で承認

2 令和元年度収支決算報告

添付ファイル参照

- ・収入の部では会費収入が 567,780 円となっているが、最近、振替受払書類の郵送が一通 110 円に上昇した。

142 名 X4,000 円-110 円 X2 名=567,780 円

- ・研修会の日整会単位の売り上げが落ちていきます。ご協力をお願いします。
- ・広告収入が 30 万円あり、江畑会長のご尽力によるものです。
- ・支出の部では幹事会費が減額となりましたが、今年 3 月の常任幹事会をメール審議としたため会費の減額が可能となった。
：賛成多数で承認

3 会計監査

添付ファイル参照

注釈：

今回は新型コロナウイルスの影響のため人の移動をできるだけ控えるという趣旨から、会長の江畑先生、事務局広報の伊室先生および監事の原田 繁先生、楠瀬浩一先生の承諾を得て、前監事の土屋正光先生に会計監査をお願いしました。常任幹事の先生方には事後承諾となっていました。ご承認の程よろしくお願ひ申し上げます。：賛成多数で承認

4 令和 2 年度予算案

添付ファイル参照：賛成多数で承認

5 第 71 回 教育研修会（令和 2 年 12 月 12 日 土曜日）の演者の選定に関して

村松先生より報告

以下の 2 名の先生方にご講演をお願いし、内諾をいただいている。

【演題 1】石井 賢先生

（国際医療福祉大学医学部整形外科教授）

演題内容：脊椎疾患の手術療法関係

【演題 2】小森 博達先生

（横浜市立みなと赤十字病院副院長・整形外科部長）

演題内容：DPC を考慮した整形外科入院診療の収益性

※演題内容はまだ正式な演題名ではありません：賛成多数で承認

6 その他

令和2年度関東地区整形外科

勤務医会総会 議事録

日時：令和2年6月

会員数 398名 定足 1/10以上

委任状：108通

入会 10名、退会・連絡先不明 8名

【報告事項】

- 1 令和元年度事業報告（資料参照）
- 2 常任幹事の退任
飛松 好子先生（国立障害者リハビリテーションセンター総長）
小柳 貴裕先生（川崎市立川崎病院ご退職）
高畑 智嗣先生（上都賀総合病院ご退職）
田中 利和先生（キッコーマン総合病院ご退職）
- 3 事務局総務の退任
中川 照彦先生（同愛記念病副院長）
- 4 その他
会報に企業広告の掲載を開始

【決議事項】

- 1 令和2年度事業計画（資料参照）
：賛成多数で承認
- 2 令和元年度収支決算（資料参照）
：賛成多数で承認
- 3 会計監査報告（資料参照）
：賛成多数で承認
- 4 令和2年度予算案（資料参照）
：賛成多数で承認
- 5 新常任幹事の承認
田尻 康人先生（都立広尾病院 副院長）
五嶋 孝博先生（がん・感染症センター都立駒込病院 副院長、骨軟部腫瘍科）
西本 和正先生（川崎市立井田病院 整形外科部長）
上田 誠司先生（川崎市立川崎病院 副院長）
森岡 秀夫先生（国立病院機構東京医療センター 特命院長補佐）
：賛成多数で承認
- 6 新事務局総務の承認
新井 嘉容先生（埼玉県済生会川口総合病院 副院長）：賛成多数で承認

令和元年度事業報告

令和元年6月1日～令和2年5月31日

会報発行：2回（第72号；令和元年11月27日

発行、第73号；令和2年6月13日発行）

総会：1回 令和元年6月15日

幹事・常任会幹事会：2回 令和元年6月15日、
同年12月14日

常任幹事会：4回 令和元年6月15日、
同年10月28日、同年12月14日、
令和2年3月16日（メール審議）

教育研修会：2回 令和元年6月15日、
同年12月14日

第68回 教育研修会 令和元年6月15日

【演題1】座長：田中 利和先生

演者：金岡 恒治先生 早稲田大学スポーツ科学学術院教授

演題名：腰痛のプライマリケア

【演題2】座長：鎌田 修博先生

演者：小西 宏昭先生 労働者健康安全機構長崎労災病院副院長

演題名：医療機器単回、複数使用の是非と安全性～感染症リスクは減少するか？～

第69回 教育研修会 令和元年12月14日

【演題1】座長：石橋 英明先生

演者：河野 博隆先生 帝京大学医学部整形外科教室主任教授

演題内容：「動ける」ことを意識した骨転移診療

【演題2】座長：岡崎 裕司先生

演者：門野 夕峰先生 埼玉医科大学整形外科・脊椎外科教授

演題内容：整形外科医でも分かるリウマチ治療のアップデート

全国整形外科保険審査委員会議

令和元年9月8日

東日本整形災害外科学会シンポジウム

令和元年9月6日

外保連総会、実務委員会、手術委員会、検査委員会、処置委員会

内保連

日整会社会保険委員会

令和２年度事業計画（案）

令和２年６月１日～令和３年５月３１日

会報発行：２回 令和２年１１月、令和３年５月を
予定

総会：１回 令和２年６月（資料郵送）

幹事・常任会幹事会：２回 令和２年６月（メー
ル審議）、同年１２月１２日

常任幹事会：４回 令和２年６月１３日（メール審
議）、同年１０月２６日、同年１２月１２日、令和
３年３月（メール審議）

教育研修会：１回 令和２年１２月１２日

第７０回教育研修会は令和２年６月１５日開催を
予定したが中止。

第７１回 教育研修会 令和２年１２月１２日

以下の２名の先生方にご講演をお願いし、内
諾を得ている。

【演題１】石井 賢先生 国際医療福祉大学医学
部整形外科教授

演題内容：脊椎疾患の手術療法関係

【演題２】小森 博達先生 横浜市立みなと赤十
字病院 副院長・整形外科部長

演題内容：DPC を考慮した整形外科入院診療
の収益性

※演題内容はまだ正式な演題名ではありません

全国整形外科保険審査委員会委員会議

令和２年９月１３日

日本整形外科勤務医会総会

令和３年５月１９日

日整会総会シンポジウム（日本整形外科勤務
医会提案）

外保連総会、実務委員会、手術委員会、

検査委員会、処置委員会

内保連

日整会社会保険委員会

令和元年度 収支決算書

令和元年６月１日～令和２年５月３１日

【収入の部】 (単位：円)

項目	予算額	決算額	増減	付記
前年度繰越金	3,509,741	3,509,741	0	
会費	800,000	567,800	▲232,220	
利子	100	26	▲74	
研修会費	300,000	200,000	▲100,000	
広告費	0	300,000	300,000	
幹事会費	150,000	89,000	▲64,000	
合計	4,759,841	4,663,547	▲96,294	

【支出の部】 (単位：円)

項目	予算額	決算額	増減	付記
幹事会	440,000	241,285	▲198,715	
総会研修会費	650,000	572,621	▲77,379	
会報	300,000	167,547	▲132,453	
会員名簿	0	0	0	
日整会勤務会費	400,000	283,890	▲116,110	
通信費	250,000	104,248	▲145,752	
事務人件費	120,000	120,000	0	
HP 運営費	180,000	189,467	9,467	
雑費	10,000	0	▲10,000	
小計	2,350,000	1,679,058	▲670,942	
次年度繰越金	2,409,841	2,984,489	574,648	
合計	4,759,841	4,663,547	▲96,294	

令和2年度 予算書 (案)

令和2年6月1日～令和3年5月31日

【収入の部】

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額
会費	600,000	800,000
利子	30	100
研修会費	150,000	300,000
広告費	400,000	0
幹事会費	100,000	150,000
前年度繰越金	2,984,489	3,509,741
合計	4,234,519	4,759,841

【支出の部】

(単位：円)

項目	本年度予算案	前年度予算案
幹事会	200,000	440,000
総会研修会費	350,000	650,000
会報	200,000	300,000
日整会勤務会費	300,000	400,000
通信費	300,000	250,000
HP運営費	200,000	180,000
事務人件費	120,000	120,000
雑費	10,000	10,000
小計	1,680,000	2,350,000
次年度繰越金	2,554,519	2,409,841
合計	4,234,519	4,759,841

令和2年度関東地区整形外科

勤務医会常任幹事会

議事録

日時：令和2年10月26日 月曜日

19:00～20:30

場所：A P 東京八重洲通り 7階 P+Q+R ルーム

参加常任幹事

浅野 聡、新井 嘉容、石橋 英明、泉田 良一、
伊室 貴、岩瀬 嘉志、浦部 忠久、江畑 功、
大江 隆史、大野 隆一、桂川 陽三、
鎌田 修博、亀山 真、川井 章、河内 敏行、
河村 直洋、楠瀬 浩一、河野 亨、五嶋 孝博、
坂根 正孝、佐々木 孝、清水 健太郎、
進藤 重雄、田尻 康人、土屋 正光、
寺内 正紀、富田 善雄、中川 照彦、
新関 祐美、西本 和正、原田 義忠、平泉 裕、
平野 篤、別府 保男、穂積 高弘、眞塩 清、
松原 正明、三上 容司、村松 俊樹、
森岡 秀夫、山縣 正庸、山本 精三

(42名：敬称略、五十音順)

【報告事項】

1 理事会報告

江畑先生より報告

- ・専認構から各学会へ会費値上げ要求あり
→各基本学会一律30万円＋専門医一人当たり100円を追加（日整会は190万円弱位増額）。
 - ・基本領域以外にサブスペシャリティー領域の連絡協議会が、今回設置。
脊椎と手の外科は、整形外科が主体。
リウマチは、リウマチ学会の予定。
 - ・就業状況のアンケート（4月にメールで実施）
結果：25,000人のうち1万人回答。
回答率：40%と非常に良好。アンケート結果から下記動きあり。
- 1 病院勤務30代以下の医師：長時間労働の傾向。2024年までに改善させる。
 - 2 年休の取得促進などを通じて時間外労働を減らしていく方向へ。
- ・JOANR：4月から登録が開始し、半年経過。現

在までに 35 万件登録。

人工関節のパーツの読み取りのバーコードアプリを開発中。予算 900 万円位。実現すれば、アプリをダウンロードする事で、登録がしやすくなる。

今年度入力したデータは、おそらく来年の 7 月以降に利用の可能性あり。データの活用で、外保連での点数等の請求に役立つ。

- ・学会自体、学術総会や基礎、骨軟部腫瘍もすべてオンライン化。

総会の参加者：15,800 名(通常の 5,000 名増)
研修講演参加者：248,000 名(通常の 6.2 倍)
の結果、収入増。

課題：不正聴講（スマホを使つての高単位取得等）の対応策を検討中。

- ・三上先生から補足あり
日整会教育研修委員会で先週審議：
不正聴講・視聴した者がそれを認めれば e-ラーニングなどを経て今後の単位を認めることになった。
→該当者がいるようであれば、非を認めて対応するようにアドバイスを。
- ・認定医制度・研修会なども、オンラインで開催されたものがある。参加された方は、おおむね好評。来年度の 4 研修会は全て、オンライン開催。
- ・次期役員選挙。前回、5 月の総会で定款改定。理事の総数を増やし、今回は一応 23 名の予定。監事は 3 名。
- ・「2021 年 5 月第 94 回総会」土屋先生（金沢大学）→東京で開催予定（開催形式に関しては 1 月決定予定）。
- ・専門医試験 2021 年 1 月に C B T（Computer Based Testing）実施。今回から、面接試験がなくなる。（テストだけ）各都道府県別で会場を設けて、実施。
従来型の受験予定者：675 名。暫定登録者：540 名。計 1,200 名予定。
- ・日整会誌：2021 年から電子化。
アンケート実施 回答率:80%位、75%完全オンライン化賛成。
現在のメール登録率は 85%。未登録の先生方は、是非登録を。どうしても冊子希望という

方は、別途手続きにて対応。

- ・企業関係の「教育講演研修会」オンライン化への柔軟な対応へ徐々に変化。
コンテンツ作成時の注意点を作成し、企業側との基準を現在調整中。

2 関東地区整形外科勤務医会

(第 71 回教育研修会)

事務局 新井先生より報告

日時：令和 2 年 12 月 12 日(土) 16:00~18:00

場所：A P 東京八重洲通り

【演題 I】

座長：(未定)

演題名：脊椎脊髓疾患に伴う痛みに対する治療戦略

演者：石井 賢先生 国際医療福祉大学医学部
整形外科主任教授

必須分野番号：7

【演題 II】

座長：(未定)

演題名：DPC からみた入院診療の収益性

演者：小森 博達先生 横浜市立みなと赤十字
病院副院長

必須分野番号：14-4

- ・マスク着用、手指消毒、間隔確保を条件として通常の開催形式で開催。
- ・座長の選定は「審議事項」4にて審議。

3 ホームページ・会報

伊室先生より報告

1「関東地区整形外科勤務医会」のホームページ

- ・8月に大きく変更。
- ・会報第 73 号の PDF を掲載。
- ・役員名簿、教育研修会、各種申請用紙（入会申込書、変更届）等を変更。事務局を「済生会川口総合病院」新井嘉容に修正。
- ・ホームページの契約を年間定額制に変更を検討中
- ・費用の軽減：日整会と同じ会社に定額（約 8 万円→4 万円台へ）の方向で交渉中。
- ・鎌田先生より意見：現状の交渉内容では高いのではないか。日本整形外科勤務医会のホームページは使用料併せて 4000 円位。ただし、セキュリティに問題あり。
- ・伊室先生より回答：（この意見を受け）より強

く価格交渉に臨む。

- ・会報の印刷依頼先の変更を検討中。
- ・次回の会報、若干の書式変更の可能性ある。
- ・旧事務局封筒が 1,500 枚位余っているため、経費節約の意味でも使い切りたい。

4 ロコモチャレンジ!推進協議会の活動報告

大江先生より報告

- ・組織の紹介。
- ・5 月総会の追加事項：今年、ロコモの臨床判断値に「ロコモ度 3」を新設。
- ・9 月 10 日日整会の記者説明会で、マスコミに向けて発信。
詳細はロコモチャレンジ推進ホームページ「ロコモパンフレット 2020 年版」を参照。
- ・フレイルでも手術をすれば、治ることがポイント。手術や整形外科の治療法でロコモ度 3 をロコモ度 2 へ移行できる。

5 外保連関係

亀山先生より報告

- ・現在 8 名の社保委員で運営。今回、2 名の交代があった。
退任：高畑 智嗣先生(西宮渡辺病)
土井 一輝先生(小郡第一病院)
新任：岩瀬 嘉志先生(順天堂東京江東高齢者医療センター)
森岡 秀夫先生(国立病院機構東京医療センター)
- ・外保連委員については特に変更なし。
- ・技術紹介適正化の為に手術に関する調査の協力依頼。
日整会から回答することを外保連には返事。
調査内容：麻酔時間と手術時間について。
対象期間：10 月、11 月の 2 ケ月
- ・令和 4 年度診療報酬改定についての要望アンケート依頼
締め切り：11 月 30 日。
勤務医会として、前回要望の未採択、4 案件を出す予定。
 - 1 放射線被爆加算。
 - 2 頸胸椎後縦靱帯骨化症前方進入及び黄色靱帯骨化症手術における複数椎間加算
 - 3 診療材料：脊柱手術時のマイクロドリルでのダイヤモンドバー及びスティールバー

4 放射線防御

これ以外にも要望があれば、勤務医会社保委員に問い合わせを→提出する予定

＊アンケートの提出は、事務局から提出という取り決めであったが、今回の案内で実務委員から提出して良いと記載あり。今後、要望があれば、対応。

平泉先生より報告

- ・別添資料参照

6 内保連関係

石橋先生より報告

- ・組織の紹介
- ・10 月 15 日総会にて、令和 2 年度の診療報酬改定の総括を報告
- ・内保連全体として、提案件数：技術提案項目 468 件。
- ・診療報酬の改定率：2010 年 42%、2012 年 32%。今年度は 21%。
- ・全体的に厳しくなっている。
- ・一般の血液採取料：30 点→35 点
- ・リハビリテーションで運動量増加機器使用加算が採択。
- ・整形外科関連：7 種類要望出すが、SLE に対するベリムマブ等の外来化学療法加算だけが採択。
- ・令和 4 年度診療報酬改定。第一次提案提出締め切り 12 月 10 日。
- ・来年 7 月ヒアリング予定。
- ・山縣先生より補足
- ・関東地区整形外科勤務医会は内保連に未加盟。このため、直接提出はできない。
- ・日整会の社保委員会に提出後、優先順位をつけ、内保連の一次提案となる。
- ・締め切りは 12 月 10 日。但し、日整会の社保委員会は、11 月 14 日開催。
- ・それまでに、勤務医会から要望があれば、項目だけで良いので、提出のこと。

7 今後の常任幹事会開催形態について

事務局新井先生より説明

- ・3 月 16 日常任幹事会にて、年 2 回（3 月と 10

月)の常任幹事会はメール審議とすることが決定。

- ・ただし日整会の代議員選挙の前年の10月の常任幹事会は対面式とする。
- ・今後の状況はわからないが、当面はこの運営形式で行うことを確認した。

8 その他

村松先生より報告

- ・教育研修委員の交代を報告
退任:田中 利和先生(キッコーマン総合病院)
*ご開業に伴い退会。

新任:新関 祐美先生(草加市立総合病院)。→
全会一致で承認。

- ・新関 祐美先生(草加市立総合病院)よりご
就任の挨拶。

【審議事項】

1 会則の改訂について

事務局新井先生より説明

- ・事務局変更に伴い、2020年7月17日に郵便局にて名義変更を行った。
- ・会則を以下のように改訂することを条件に受理となった。

付則3:(変更前)本会は事務局を東京都墨田区横綱2丁目1-11

同愛記念病院内に置く。

(変更後)本会の所在地を埼玉県川

口市西川口5丁目11-5

済生会川口総合病院内に置く。

→上記内容を全会一致で承認

2 新常任幹事の選出

事務局より審議

- ・候補者:荻田 達郎先生
(都立多摩総合医療センター)
推薦者:山本 精三先生(虎の門病院)
推薦者から候補者の紹介。
→全会一致で承認。
- ・候補者:岩部 昌平先生(済生会宇都宮病院)
推薦者:浦部 忠久先生(足利赤十字病院)
推薦者から候補者の紹介。
→全会一致で承認。
- ・岩部 昌平先生(済生会宇都宮病院)よりご
就任の挨拶。

3 新幹事の選出

事務局より審議

- ・候補者:関口 治(けいゆう病院)
推薦者:鎌田 修博先生
(厚生連伊勢原協同病院)
推薦者から候補者の紹介。
→全会一致で承認。
- ・候補者:福田 健太郎先生
(済生会横浜市東部病院)
推薦者:鎌田 修博先生
(厚生連伊勢原協同病院)
推薦者から候補者の紹介。
→全会一致で承認。

4 関東地区整形外科勤務医会(第71回教育研修会)の座長

村松先生より審議

- ・下記2名の内諾を報告。
演題Ⅰ:清水 健太郎先生
(佐野厚生総合病院)
演題Ⅱ:中川 照彦先生(同愛記念病院)
→全会一致で承認

5 東日本整形災害外科学会 シンポジウムに関して

事務局より審議

- 主催:土井田 稔先生(岩手医科大学医学部整形外科学講座教授)
会期:2021年9月17,18日
- ・事務局より2019年12月14日の常任幹事会にて開催依頼があった旨、報告あり。
- ・鎌田先生や他の常任幹事から、過去の記憶を元に、今後の対応を検討。
- ・先方から口頭による依頼の為、執行部で確認、対応することとした。

6 関東地区整形外科勤務医会(第72回教育研修会)の日程ならびに演者の選定に関して

事務局より審議

日程:候補日は令和3年6月5日,12日,
19日,26日(6月の土曜日)
会場:6月19日会場確保(この日しか空きなし)。ただし、施設の事情で10月27
日以降に確定予定。追って連絡。
(同一日に、他会場で製薬会社の予約
があり、そちらとの相互確認が必要。)

演者：村松先生より審議

- ・日程確定後、今年中止となった6月教育研修会演者に再度打診を掛ける予定。
- ・演題Ⅰ：稲葉 裕先生
(横浜市立大学整形外科教授)
- ・演題Ⅱ：鈴木 康裕先生
(厚生労働省医務技監)

→審議継続

7 日整会代議員選挙・立候補者の選出

- ・別紙参照
→全会一致で承認

日整会補欠代議員・立候補者の選出

- ・別紙参照
→全会一致で承認

8 日整会代議員および補欠代議員への推薦人の署名・捺印（日整会正会員5名）

→各自署名捺印

9 日整会理事立候補者・監事立候補者への推薦人の署名・捺印（日整会代議員5名）

→各自署名捺印

10 その他

- ・日整会代議員および補欠代議員推薦状提出に
関して

江畑先生から補足

- ・代議員に関して、11月7日選挙告示。
- ・学会ホームページから立候補届をダウンロードする。締め切りは11月30日。
- ・中川先生から補足
- ・注意喚起：推薦状等の書類提出期限を厳守のこと。
- ・次回

日時：2020年12月12日 土曜日

場所：A P 東京八重洲通り

14:30～15:30 幹事・常任幹事会

15:40～16:00 商品説明会

16:00～18:00 第71回教育研修会

コロナ感染拡大予防の観点から、講演会終了後の情報交換会は行いません。

事務局から

年初からのコロナ禍による影響を受け、関東勤務医会も常任幹事会や総会のメール審議となり、第70回教育研修会も中止となりました。世の中が一変した2020年も残りわずかとなりました。

今回の会報では、長年にわたり事務局をご担当いただきました中川先生に原稿をお願いするとともに、2年に一度行われる本年度の診療報酬改定のあらましを今泉先生にお願いいたしました。残念ながら、教育研修会の抄録はありませんが、きたる12月12日の研修会が無事に行われることを祈るのみであります。

今号より印刷会社を変更したことにより、原稿の作成方法も大きく変更し、入稿から発送までの期間を短縮することができました。また、ホームページの会報のPDFファイル作成方法も従来は印刷された紙面をスキャンしてPDFファイルを作成する方法から、Wordファイルから直接PDFファイルを作成する方法に変更いたしました。これにより従来と比較して、鮮明になるものと思います。

なお、封筒は従来のものが多数残っていますため、事務局が同愛記念病院になっておりますが、埼玉県済生会川口総合病院に変更となっておりますので、くれぐれもご注意くださいようお願い申し上げます。

(文責 伊室 貴)

お 知 ら せ

令和 2 年度関東地区整形外科勤務医会

第 71 回 日整会認定教育研修会のご案内

関東地区整形外科勤務医会では、下記のごとく幹事会および教育研修会を開催いたします。なお、研修会の出席予約は必要ありません。専門医以外の先生方もお誘いの上、ご参加下さい。

コロナ感染症拡大予防の観点から、マスクの着用や手指の消毒にお努め下さいますようお願いいたします

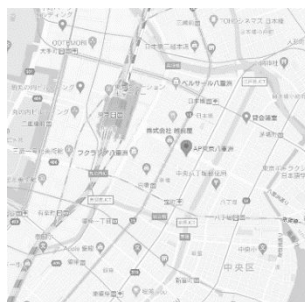
記

日 時：令和 2 年 12 月 12 日（土曜日） 開始時間は下記をご参照下さい

会 場：AP 東京八重洲通り 11F（都合により階が変更になることがあります）

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-10-7

TEL 03-6228-8109



幹事・常任幹事会：14:30～15:30

【教育情報提供】 15:40～16:00

帝國製薬（株）製品情報室

教育研修会：16:00～18:00

【演題Ⅰ】 座長：佐野厚生総合病院 清水 健太郎 先生
脊椎脊髓疾患に伴う痛みに対する治療戦略 [7, SS]

演者： 国際医療福祉大学医学部整形外科学

主任教授 石井 賢 先生

【演題Ⅱ】 座長：同愛記念病院 中川 照彦 先生

DPC からみた入院診療の収益性「14-4」

演者： 横浜市立みなと赤十字病院

副院長 小森 博達 先生

受講料：1 題 ¥1000（単位取得者のみ）

懇親会：今回は、コロナ感染症拡大予防の観点から、講演会終了後の懇親会は行いません

共 催：関東地区整形外科勤務医会

帝國製薬株式会社

関東地区整形外科勤務医会 入会申込書

令和 年 月 日

フリガナ _____

御氏名 _____

生年月日 昭和・平成 年 月 日

現住所 〒 _____

TEL _____

勤務先名称

勤務先住所 〒 _____

TEL _____

メールアドレス _____

役職名 _____

出身大学 _____

卒業年次 昭和・平成 年

かけがえない命の手助け…



『人と医療』のパートナー サンメディックス株式会社

本社 〒104-6136

東京都中央区晴海1-8-11 晴海トリートメントスクエアY棟36階
TEL 03-5144-0855(代) FAX 03-5144-0850

□宇都宮支店	〒320-0074	栃木県宇都宮市細谷町388-1	TEL:028-616-1580(代)	FAX:028-623-7350	
□東京第一支店	〒179-0075	東京都練馬区高松6-35-15	TEL:03-5923-6235(代)	FAX:03-5393-3057	
□東京第二支店	〒130-0014	東京都墨田区亀沢4-17-12	TEL:03-5619-4551(代)	FAX:03-6859-0016	
□東京第三支店	〒168-0063	東京都杉並区和泉1-22-19	TEL:03-6680-0460(代)	FAX:03-6680-0538	
□川崎支店	〒216-0005	神奈川県川崎市宮前区土橋1-21-5	TEL:044-870-6377(代)	FAX:044-866-3813	
□横浜支店	〒240-0005	神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134	TEL:045-348-7260(代)	FAX:045-348-7261	
□相模原支店	〒252-0334	神奈川県相模原市南区若松1-1-3	TEL:042-767-3771(代)	FAX:042-767-3773	
□首都圏物流センター	〒143-0006	東京都大田区平和島6-1-1 東京流通センターA棟3F	TEL:03-5764-5110(代)	FAX:03-5764-5119	
□小山営業所	0285-30-3388(代)	□埼玉営業所	048-640-6621(代)	□山梨出張所	055-280-8015(代)
□佐野営業所	0283-21-1007(代)	□埼玉西営業所	0493-21-7310(代)	□長野営業所	026-229-8030(代)
□水戸営業所	029-305-6125(代)	□千葉営業所	043-244-6322(代)	□松本営業所	0263-24-1125(代)
□筑波営業所	029-850-5185(代)	□多摩営業所	042-348-5011(代)	□名古屋営業所	052-218-2735(代)
□前橋営業所	027-280-4433(代)	□厚木営業所	046-296-2822(代)		

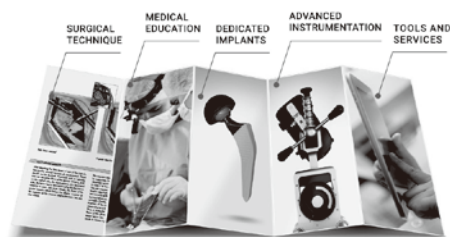
URL : <http://www.sunmedix.co.jp> E-mail : mailbox@sunmedix.co.jp



Medacta Internationalはスイスに本社を置く、整形及び脳外科インプラントの開発・製造・販売を行っているグローバルカンパニーです。Medactaは**患者の生活の質を高める**ことをビジョンとして掲げております。

イノベーション、教育訓練の場を提供します。

AMIS[®] Experience
ANTERIOR MINIMALLY INVASIVE SURGERY
IN HIP REPLACEMENT



GAMK[®] SPHERE
MEDIALY STABILIZED KNEE



製造販売元 [許可番号:1381X10060]
メダクタジャパン株式会社
〒102-0083 東京都千代田区麹町5-3-5 麹町中田ビル
TEL 03-6272-8797 FAX 03-6272-8798

MySpine[®] MC
PATIENT MATCHED TECHNOLOGY
IN SPINE SURGERY



承認番号:226006ZX00321000
販売名:GMK SPHERE 人工股関節システム
承認番号:225006ZX00227000
販売名:GMK セメントッド人工股関節システム

承認番号:224006ZX00470000
販売名:MUJ.S.T. スパイナルシステム
承認番号:230006ZX00210000
販売名:MEDACTA 人工肩関節システム

MEDACTA SHOULDER SYSTEM



承認番号:228008ZX00254000
販売名:MySpine P5ガイド
型番番号:1381X1006G101001
販売名:AMIS モバイルレッグジョイナー
承認番号:230008ZX00267000
販売名:MEDACTA 人工肩関節システム リバース型



MEDACTA.JP

© 2023 Medacta International SA. All rights reserved.
rev. KANT02023

Aimedic MMT SPORTS Medicine

販売名：匠 LIGAFIT医療機器承認番号：301008ZX00055000
販売名：匠 ステープ医療機器承認番号：301008ZX00056000

AI-Wiring System 0

AI-ワイヤリングシステム ゼロ

AI-ワイヤリングシステム ゼロは、柔軟で高い引っ張り強度を持つケーブルとスリーブボックスを一体化することで優れた固定性を得ることができ、幅広い適応性をもつ骨端部固定システムです。

- ・ケーブルとスリーブボックスを圧着することで得られる優れた固定性
- ・軟部組織の刺激の低減に貢献するロープロファイルインプラント形状
- ・簡便で確実な操作性をもたらし専用インストゥルメント



従来品

従来品に比べ大幅な小型化を実現しました。
圧着後も角張らない丸みを帯びたデザインとしました。

KINKLESS-CABLE



19×7のマルチフィラメント構造とすることで
優れた操作性と滑らかな表面形状を実現しました。

AI-PIN SINGLE



骨面と同レベルまで打ち込むことができるように
テーパー状のヘッドホールを採用しました。

STANDARD-SLEEVE



小さく丸みを帯びたデザインとしました。

販売名：AIワイヤリングシステム ゼロ 医療機器承認番号：228008ZX00201000
販売名：キングレスケーブル 医療機器承認番号：228008ZX00200000



株式会社 **Aimedic MMT**

〒108-0075 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス
URL: <http://www.aimedicmmt.co.jp/>

STRATAFIX® Spiral PDS PLUS®

Smooth and Secure

軟部組織縫合に適したSmoothな組織透過性と
Secureな組織保持をめざしたノットフリー縫合デバイス

ETHICON
PART OF THE JOHNSON & JOHNSON FAMILY OF COMPANIES

製造販売元：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカル カンパニー
〒101-0065 東京都千代田区西神田3丁目5番2号
高度管理医療機器 販売名：STRATAFIX Spiral PDS プラス 承認番号：229008ZX00123000

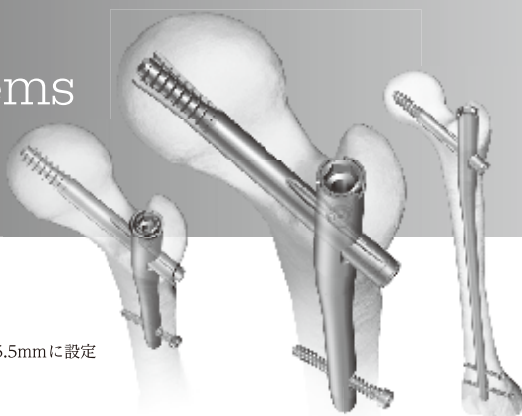
076536470719 ©J&JKK 2017

stryker

Gamma3 Hip fracture systems

ガンマ 3 ヒップフラクチャーシステム

ガンマ 3 トロキャンテリックネイル
ガンマ 3 ロングネイル R1.5
ガンマ 3 U-ラグスクリュー



U-ラグスクリュー

高い回旋抵抗と骨把持力

ネイル形状

日本人の大腿骨形状に合わせて長さを170mm、近位径を15.5mmに設定

Distal Targeting System

高精度かつ操作性に優れたデバイス

医療機器承認番号 販売名

21500BZY00261000 ガンマ 3 ロッキングネイルシステム

22400BZX00049000 ガンマ 3 U-ラグスクリュー

21300BZY00378000 T2 ロッキングネイルシステム

※本製品に関するお問い合わせは弊社営業までお願い致します。

製造販売業者

日本ストライカー株式会社

112-0004 東京都文京区後楽2-6-1 飯田橋ファーストタワー

P 03 6894 0000

www.stryker.com/jp

医療従事者向けサイト: Stryker medical professional site

www.stryker.co.jp/mp2/

 **DePuy Synthes** *People inspired™*
COMPANIES OF JOHNSON & JOHNSON

VIPER PRIME

Fewer instruments.

Reduced steps.

No Jamshidi.

Zero guidewires.

One

transformative technique.



VIPER PRIME™ System

Let **one tool** inspire a new technique.

depuysynthes.jp

製造販売元: ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 デピュースンセス事業本部 ス/バイン事業部 〒101-0065 東京都千代田区西神田3丁目5番2号 / 販売名: VIPER PRIME ス/バインシステム / 承認番号: 229008Z000419000
販売名: VIPER PRIME 器械セット / 輸出番号: 1381X0020420066 / 販売名: VIPER PRIME スタイルレット / 認証番号: 229AD0Z00125000 / 048J002019 / DSSE570A-01201908・122057-190829

超音波骨折治療器

LIPUS治療に2つの機器のご提案。
患者様の状況に合わせてお選びいただけます。

超音波骨折治療器 アクセラス2

Accellus 2

購入 レンタル



30 mW/cm^2 $\longleftrightarrow$ 60 mW/cm^2
選べる
2段階出力

従来の2プローブ設計、選べる2段階出力に加え、AC電源／バッテリー駆動が選択でき、より使いやすくなりました。手指や鎖骨への照射に適した小型プローブ（別売品）も用意しました。

使用イメージ



小型プローブ使用イメージ

管理医療機器/特定保守管理医療機器 医療機器認証番号: 229AHBZX00016000

超音波骨折治療器 アクセラスミニ

Accellus mini

レンタル



30 mW/cm^2

固定イメージ



桡骨
尺骨

プローブ・本体が一体化したスマートタイプ。毎日の使用の手間を軽減した設計です。

管理医療機器/特定保守管理医療機器 医療機器認証番号: 227AFBZX00018000

製造販売業者



SIGMAX 日本シグマックス株式会社

インターネットで日本シグマックスの情報をご覧いただけます。 日本シグマックスのホームページ <https://sigmax-med.jp>

本社：〒163-6033 東京都新宿区西新宿6-8-1
お客様窓口 TEL.0800-222-6122（通話料無料）
受付時間：9時～17時（平日）※土日、祝日、年末年始を除く





無香性の フェルビナク含有貼付剤 (パップ剤・テープ剤)

経皮鎮痛消炎パップ剤・テープ剤(無香性)

薬価基準収載

セルタッチ[®]パップ⁷⁰140・テープ⁷⁰

SELTOUCH[®] Pap 70/140・Tape 70 日本薬局方 フェルビナクパップ・フェルビナクテープ

禁忌(次の患者には使用しないこと)

1. 本剤又は他のフェルビナク製剤に対して過敏症の既往歴のある患者
2. アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等)による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者[喘息発作を誘発するおそれがある。]

■効能・効果

下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎

変形性関節症
肩関節周囲炎
腱・腱鞘炎
腱周囲炎
上腕骨上顆炎(テニス肘等)
筋肉痛
外傷後の腫脹・疼痛

■用法・用量

1日2回患部に貼付する。

■使用上の注意

1. 慎重投与(次の患者には慎重に使用すること)
気管支喘息のある患者[喘息発作を誘発するおそれがある。]
2. 重要な基本的注意
(1) 消炎鎮痛剤による治療は原因療法ではなく対症療法であることに留意すること。
(2) 皮膚の感染症を不顕性化するおそれがあるので、感染を伴う炎症に対して用いる場合には適切な抗菌剤又は抗真菌剤を併用し、観察を十分行い慎重に使用すること。
(3) 慢性疾患(変形性関節症等)に対し本剤を用いる場合には薬物療法以外の療法も考慮すること。また、患者の状態を十分観察し、副作用の発現に留意すること。
3. 副作用
セルタッチパップ70
本剤の副作用集計対象となった5,033例中、71例(1.41%)に副作用が認められた。その主なものは皮膚炎(発疹、湿疹を含む)(0.44%)、そう

痒(0.44%)、発赤(0.40%)、接触皮膚炎(0.34%)等であった。[再審査終了時の集計]

セルタッチパップ140

1枚中フェルビナク70mg含有貼付剤(パップ剤)の副作用集計対象となった5,033例中、71例(1.41%)に副作用が認められた。その主なものは皮膚炎(発疹、湿疹を含む)(0.44%)、そう痒(0.44%)、発赤(0.40%)、接触皮膚炎(0.34%)等であった。[再審査終了時の集計]

セルタッチテープ70

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1) 重大な副作用(頻度不明)

ショック、アナフィラキシー：ショック、アナフィラキシー(蕁麻疹、血管浮腫、呼吸困難等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

セルタッチパップ70・140

以下のような副作用があらわれた場合には、症状に応じて使用を中止するなど適切な処置を行うこと。なお、本項には自発報告等副作用発現頻度が算出できない副作用報告を含む。

	副作用の頻度		
	0.1～1%未満	0.1%未満	頻度不明
皮膚	皮膚炎(発疹、湿疹を含む)、 そう痒、発赤、接触皮膚炎	刺激感	水疱

セルタッチテープ70

以下のような副作用があらわれた場合には、症状に応じて使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

	頻度不明
皮膚	皮膚炎(発疹、湿疹を含む)、そう痒、発赤、接触皮膚炎、 刺激感、水疱

なお、セルタッチ(フェルビナク70mgを含有するパップ剤)では副作用集計対象となった5,033例中、71例(1.41%)に副作用が認められた。その主なものは皮膚炎(発疹、湿疹を含む)(0.44%)、そう痒(0.44%)、発赤(0.40%)、接触皮膚炎(0.34%)等であった。[再審査終了時の集計]

製造販売元

帝國製薬株式会社
香川県東かがわ市三本松567番地

〈製品情報お問い合わせ先〉

医薬営業部 製品情報室

TEL: 0120-189-567

受付時間：月～金 9:00～17:30(祝日、当社休日を除く)

<https://www.teikoku.co.jp/medical/>

●その他の使用上の注意は、添付文書をご参照ください。

2020.1作成